

令和2年度 第1回学校運営協議会

令和2年度 学校運営協議会委員の皆様

会長	渡辺 欣宥 様	副会長	横島 聡子 様
委員	小杉 満理子 様	委員	中村 節子 様
委員	和田 佐奈子 様	委員	小嶋 英史 様
委員	金清 隆純 様	委員	堀 明人 様
委員	大森 由貴子 様	校長	高橋 美恵子

1 期 日 令和2年4月28日(火)
13:00 ~ 14:17

2 運営協議会の内容

(1) 学校運営協議会

- ① 会長・副会長の選出 会長 副会長
- ② 学校経営についての説明

【議事録の抜粋】

会長： それでは、みなさんのご指名によりまして今年度も会長職を引き受けました渡辺です。どうぞ、よろしくお願いいたします。コロナのウィルス問題で、考え方によりますが、今のお子さんには学校が一番のより所となっていて、その学校に来られないというのは、かわいそうなことだと思います。そうは言っても、私たちにはどうすることもできません。できるだけ早い収束を願うということになると思います。

校長： 本校の学校教育目標は、「自ら考え主体的に行動できる心豊かな子どもの育成」です。このような児童を育てるために、「児童のめあて」を「かしこく やさしく たくましく」と設定しています。まず、緑小児童のめあての「かしこく」として今年度取り組んでいくことをこれだけ考えて計画を立てました。

「かしこく」では、「ねらいの明確化」「分かる授業の展開」に取り組んでいきたいと思えます。今は家庭学習が中心となっていますが、チャレンジタイムをうまく使ってこの休業期間にできなかった学習を進められたらと思っています。

次の「やさしく」については、「認め合う集団づくり」について力を入れたいと考えています。本年度の取り組みの一つとして、「キャリア教育」なんですが、「キャリアパスポート」というものを作って、小学校1年生から中学3年生まで、キャリアパスポートがつながっていて、今自分はどんな自分になりたいのか、今の自分はどんな将来の夢をもっているのか、この1年間どんなことをしてきて目指す自分に近づいているかなという記録をためていくものです。

それから「たくましく」の部分の「体力作り」です。

昨年度から「体力作り」ということで、なるべく外に出て運動して、学力を支える体力を作っていこうと取り組んできたところです。なかなか体育の授業が種目によってはやれないんです。個人種目しか、授業が始まったとしてもできない。紹介されている運動もあるので、なるべく密集しないように学年で割り当てうまく校庭を使いながら遊んだり体力作りができたらいいなあとと思っています。また今年は「病気の予防と健康管理の徹底」これかなと思っています。自分の安全を自分で守れるように、取り組んでいきたいです。

また学校は地域とともにあることが大切になってきますので、今日の学校運営協議会の充実を図り、各種ボランティアにも助けいただきたいと思っています。さらに小中一貫教育を進め、そのメリットとしては、学力の向上、多様な人間関係の構築、特別支援教育の充実、中学校進学への不安の解消が一番大きいのですが、祇園小、緑小、二中の先生方が集まったの会議の内容

が充実していました。小中の先生方が考える「こんな子ども達になってもらいたい。」という姿が子ども達自身にも見えるようにしていけたらと思っています。

: ありがとうございます。校長先生から学校経営の詳細について説明がありました。これから意見交換をしたいと思います。様子や学校経営方針についてみなさんからご意見などがありましたらおっしゃってください。



【各委員からの意見抜粋】

: 学校が始まって来ないという児童がいるのは、その理由は人が多いところに行くのが怖いということなのか、分散登校で AB と分かれて来るようにしてもだめなのか、または先生とマンツーマンでやるのも嫌がるということなのでしょうか。

: それに関しては、今私も会長をやっているのですが、いろんな保護者から最初の3日間が始まるに当たって、いろいろ意見があったんですが、地域柄もあると思うんです。お子さんが既往疾患として喘息をもっていたり呼吸器の疾患をもっていたり、心臓疾患をもっているお子さんがいた場合、子供を通わせるリスクが怖いから登校を止めたいんだという意見が一つ。もう一つは、私もそうなんですが、医療従事者の家族は、医療の現場に携わっているのと一緒に暮らしている家族は、仕方がないかなという範囲の中で生活をしているんですが、いつ自分たちがコロナウィルスをもたらせてきているのか分からないという不安の中で仕事をしています。その場合、子供を濃厚接触者としてしまったときに、子供を媒介者としてしまった場合を一番恐れています。それで、4月の3日間通わせなかったご家庭が多かったことは事実です。

: 分散登校になったとき、先生方の授業は1回目より2回目の方が改善されて良くなるのではないのでしょうか。ABAB と登校させたら、次の週は逆にするというのもあるかなと思いました。

: 学校というところは、日々学習が連続していて、塾のようにそこで終わりというのではないので、前回うまく伝わらなくて2回目の方がうまく伝わったことを、また休み明けの A の子たちにもう1回やってあげられるので、必ず復習をしてから授業はまた始まるので AB による差はそんなに気にしてはいません。今日だめだったら、次は違うアプローチを試みようというのが先生たちなので、大丈夫だと思います。

: 出席日数が限られているところで、来ている子来られない子がいますが、その子たちは出停扱いですか。(校長：出停になります。) これからも、それが続いた場合は？

: ずっと出停になります。欠席にはなりません。

: お願いなんですけれども、家庭学習が主要教科に集中し、登校日が減るとなると、体力が落ちてしまいます。そこで、なにがしかのアドバイスや課題を出していただいて、体力が落ちないようにケアしていただきたいです。

: 4月に3日間子供たちが登校したときにも、家でするストレッチの仕方を説明し練習する先生もいました。ホームページには運動についてアップしたりしています。分散で登校できるようになったら、体育ではやれなくても長い15分間の休み時間の取り方を変えようと考えています。

: 先生方にとっても家庭の保護者にとっても今までになかった体験ですので、これからどうなるのか分からない難しい問題だと思います。校長先生にとっては、やりたいけれどもできないという状況で、ご家庭の方での考えがあり、先ほどの医療に携わる家庭の立場もありますが、いずれにせよ何かあったときにはお互いにどんどん話し合っって意見を交換したらよいと思います。これといった解決策が本当にあるのかというと、これは難しい問題だと思います。

: それでは、まとめに入りたいと思います。校長先生の方から緑小の学校の運営計画について説明がありました。このことに対して運営協議会として承認するかどうかをおはかりしたいと思います。ご承認の方、拍手をしていただけたら。(拍手) はい、ありがとうございました。校長先生、承認されました。

(終了： 14：17)